



ワイヤレスマイク注意点

1. 信号遮断  
送信機と受信機のアンテナの見通し線をできる限り維持します。受信アンテナと送信機の間には、金属製の物、壁、大勢の人がいないようにしてください。送信機と同じ場所での観衆やその他の障害物の上に受信アンテナを設置するのが理想的です。
2. 周波数  
現地の有効なテレビチャンネルを避けるように周波数を設定します  
1つの周波数ではすべてに対応できません。テレビチャンネルの分布はさらに密集してきていることもあり、ツアーで国内のどこでも同じ周波数のセットを使用して対応することは一般に不可能です。  
「設定して終わり」ではありません。  
オーディオシステムが固定設置されている場合でも、無線環境に想定外の変化があることも。テレビ局は場所が変わりませんが、現場で複数のシステムを使用する場合や、近隣の店舗などからの干渉がある場合など、周波数帯域にその他のワイヤレスシステムがある場合には、お使いのワイヤレス周波数を調整する必要があります。サウンドチェックの際には動作したことが、ショーが始まってから誤動作しないとは限りません。そのため、周波数のコーディネートは大変重要です。
3. 電源管理  
送信機の電圧要件と時間の経過に伴う電池の出力電圧を丁寧に比較して、パフォーマンスが終了するまで電池残量がなくならないことを確認してください。
4. ゲインセットアップ  
入力ゲインを正しく設定することは、ワイヤレスシステムの最も重要な調整の1つです。ゲインの設定が高すぎると歪みが発生することがあります。ゲインの設定が低すぎると信号雑音比が悪くなる場合があります。  
ゲインコントロールの目的は、入力がオーバーロードすなわち「クリッピング」を生じないように入力感度を下げつつ、信号レベルをシステムノイズフロアよりも十分に高くなるようにすることです。